



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/~ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

労働条件改善と経営民主化<近畿地協> みんなの力で流れ変えよう<滋賀従組> 平和と子どもとくらしを守る<母親大会>

10月は、当単組の第105定期大会をはじめ金融労連近畿地協第5回定期大会、第5回年金者部会総会、第56回滋賀県母親大会など、多くの組合や団体の定期大会や総会が開催されました。その様子を簡単に紹介いたします。

金融労連近畿地協が 第5回定期大会を 大津で開催

10月16日大津市において金融労連近畿地協第5回定期大会が開催され、代議員やオブザーバーなど37人が参加され、当単組から本部役員の手谷副委員長はじめ6名が出席しました。大会では「金融再編・合理化」の中での組織強化・拡大の取組、「労働条件の改善と経営民主化の取組」「平和と民主主義、国民的課題でのたたかい」などの方針が決定されました。なお、新年度の近畿地協議長に池田泉州従組の岡野展子氏が選出されました。



滋賀従組定期大会に 先輩組合員9名参加 「流れを変えよう」

滋賀銀行従業員組合は、10月19日守山市において第105定期大会を開催しました。

定期大会には今村県労連事務局長、岡野近畿地協議長、西川日本共産党県議から来賓挨拶を頂きました。中島委員長は挨拶で「売り手良しだけの経済では不況は超えられない、たたかう労働組合が三方良しの運動を広げ、この大会を契機



職場の声

気になる「しかり方」

外交さんが毎日しかられています。役席さんが三連休に得意先へ行ったのか「関西。。とかは廻っているぞ。銀行出身の人は残るために必死になっっているぞ」と言っておられました。その役席さんは若い時は休みに外交してたらしいです。

筋の通る経費節減を

最近経費の予算が大変厳しく、この期末はボールペンも買って貰えないほどです。「何か必要なら、自腹で買って」と言われています。それに比べ役員の多さは何なんでしょう。また内部留保の額を見たらどうなんだろう。



邪魔者と話しをしないのが「対話力？」

定期大会で「最近銀行に行っても話しもしてくれない」とぼやいている人がいましたが、銀行の思惑はたんなるおしゃべりにきたお客は、儲からないので邪魔なのです。PB先とかにいろんな商品を常に紹介できる人になるように、対話力をつけなさいと銀行は言っています。だから、どうでもいい事を話しに来るお客を相手にしないで、テラーは商品を売らないと目標が達成できないので邪魔なのです。

後期高齢者医療制度の 全面廃止を！

毎回の年金支給日に滋賀県高齢者運動連絡会などによる県庁前集会が実施されています。10月15日は、先輩組合員ら6人が参加しました。

4年先送りとし、老人保険制度には戻さない、医療費抑制・差別医療の仕組みを新制度に引き継ぐという「二重の公約違反」を進めている。

後期高齢者医療制度が導入されて早2年が経過した。高齢者の尊厳と自己決定権を奪い、長寿を喜ばない世界でも例がない年齢で差別する医療制度に対する国民各層の怒りは政権交代の原動力の一つとなった。しかし政権党になつた民主党は「新しい制度を設計してから後期高齢者医療制度を廃止する」と「後期高齢者医療制度の廃止」の公約を



滋賀県庁前の座り込み

今年7月、民主党は「中間報告のまとめ」を発表。今年中に「新制度」を法制化しようとしていたが、その中で後期高齢者医療制度について「内容の説明不足のために国民が誤解した」と述べて「名称」を廃止、そして高齢者の8割強の1200万人の75歳以上は「別枠の国民健康保険」へ、残り約200万人は企業の被用者保険に加入するという二本立てを提案している。しかし運営は、各府県単位の広域連合制度を温存するという。即ち診療費が増加して財源不足となれば保険料を値上げして運営するという仕組みに他ならず、「保険料の負担増が嫌なら診療を控えよ」との、まさに姥捨て思想は依然として変らぬものとなっている。(2010年10月15日 集会決議文より引用)

滋賀県母親大会に 1020人が集う

「生命を生み出す母親は生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンのもと、10月24日第56



に反転攻勢に転じたい」と述べ、流れを変える議論と先輩組合員の協力を求めました。大会では組合員からの発言とともに、参加された浦野近畿地協副議長や先輩組合員9名から「利用者の目から見た滋賀銀行の問題点」など様々な角度から発言がされました。なお同日、第5回年金者部会総会が開催され、単組との合同交流会に26人が参加しました。

回滋賀県母親大会が大津市の仰木の里東小学校を会場に開催され1020名が集いました。単組からは、組合員と女性先輩組合員を中心に10名参加しました。大会の午前は小森陽一東大教授・九条の会事務局長の講演が行われ、午後は25の分科会で討論や棚田の見学などが行われました。同大会のアピールは、「主権者である私たちが手を取り合い、日本の宝・世界の宝といわれる日本国憲法を守って、平和と子どもとくらしを守る草の根の母親運動をさらに大きく広げていきますように。」と結んでいます。